

第11回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰

～鳥取県でのUDタクシーの先駆的な取り組みが受賞～

中国運輸局 交通政策部 消費者行政・情報課

最近、鳥取の街に行くとイエローのワゴン型タクシーを見かけることが随分多くなりました。それもそのはず、鳥取県では、高齢者、車椅子利用者だけでなく誰もが利用しやすいユニバーサル・デザインを採用した「UDタクシー」の台数が、もうすぐ200台に届くこととなります。この数は、県内のタクシーの4分の1にもなります。



デザインが統一されたUDタクシー

案内板・待機場が整備された鳥取コナン空港



国土交通省では、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰していますが、このたび、鳥取県、公益財団法人日本財団及び一般社団法人鳥取県ハイヤータクシー協会が官民一体となって行った先駆的なタクシーのバリアフリー化の取り組みが表彰されました。

表彰式は、年明け間もない1月12日、霞ヶ関の国土交通省において執り行われ、石井大臣により、鳥取県の平井知事、日本財団の尾形理事長、鳥取県ハイヤータクシー協会の船越会長、それぞれに表彰状が授与されました。



この取り組みは、200台のUDタクシーを導入することだけでなく、鳥取県の玄関口である空港・駅を中心にUDタクシー専用の待機場所の整備、乗降場案内看板の整備、段差解消整備を行っており、ソフト面でも高齢者・障害者等の特性を理解した接客向上のためのユニバーサルドライバー研修を県内タクシーの全乗務員に対し実施することとしており、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、誰もが移動しやすい先駆的なタクシーのバリアフリー化事業として評価されたものです。

導入当初は、健常者の方々から利用をためらう向きもありましたが、各種イベントでの紹介、チラシを配る等積極的なPRの成果により、今では「黄色いタクシーを！」との声がかかるほど好評とのことです。



最近では、年々増えている大きな荷物を抱えた外国人観光客の利用、サイクリングにおける自転車積載サービス等様々な用途で利用は広がっています。鳥取に行かれた時は、ぜひ「黄色いUDタクシー」に乗ってみてください。